

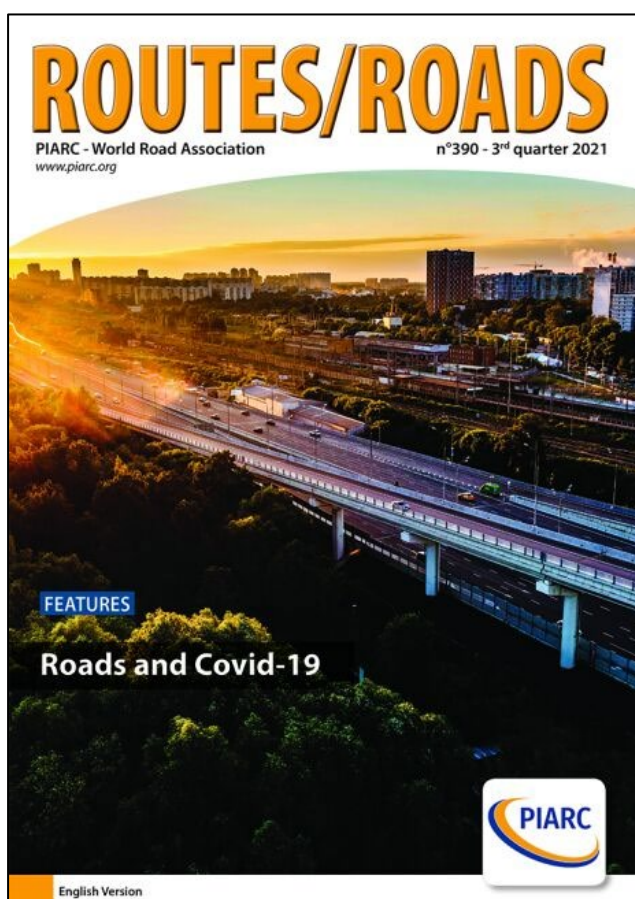
令和3年12月

PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ

日頃より PIARC 活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADS 最新号のご案内とともに、日本国内委員会よりお知らせさせていただきます。最新号の特集は、「道路と Covid-19」です。Covid-19 感染拡大が世界の道路関係機関にどのような影響を与えてきたか、またウィズコロナ、ポストコロナ社会のあり方を道路の視点から考えることは、道路関係者にとって重要なテーマであります。また、中日本高速道路（株）が寄稿した「人工知能（AI）技術を用いた舗装路面性状評価手法」の記事が掲載されています（11 頁）。皆様の業務の参考になれば幸いです。ぜひご一読ください。

1. ROUTES/ROADS 最新号（390 号）



【特集】道路と Covid-19

【今号の発行にあたって】

昨年の Covid-19 感染拡大以降、世界各国の道路行政及び道路運営機関は大きな影響を受け、これら影響に対応すべく様々な対策を実施してきました。現在も各国の状況が一進一退する中であって、社会生活が完全に元通り戻るかは不明瞭のままです。このような状況の中、ウィズコロナ及びポストコロナ社

会に向け今後道路事業がどうあるべきか将来の姿を考え実践することが、今回のパンデミック対応を振り返るとともに重要になってきます。

PIARC においても、メンバー国の期待に早期に応えるべく 2020 年 3 月に Covid-19 レスポンスチーム（CRT）を立ち上げました。ウェビナーを開催し各国のアイデアや情報を収集・共有のうえレポートとしてとりまとめました。そこでは経済的、社会的、環境的な側面、具体的には資金調達、交通安全、道路工事、貨物・物流、モビリティ等における道路事業への影響及びその対策が含まれています。

本特集でも Covid-19 に関する各国の取り組み事例が多く紹介されています。今後の道路を取り巻く環境は未だ不確実な状況ですが、PIARC は継続的に様々な知見を共有していく予定です。

2. 今号の主な記事の紹介

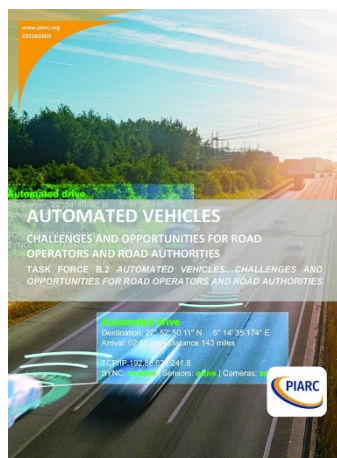
- ✓ PIARC 活動報告 -10 頁
- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介 -18 頁
- 【今号の特集】
- ✓ Covid-19 と PIARC : 様々な経験の共有 -23 頁
- ✓ 新たな交通技術とサービスモデルに対する Covid-19 の影響 -25 頁
- ✓ 災害マネジメントへのパンデミックの影響 -29 頁
- ✓ パンデミック時の道路セクターにおける災害マネジメント：インドネシアの教訓 -33 頁
- ✓ Covid-19 の道路セクターへの経済効果：不確実な未来 -38 頁
- ✓ 中低所得国の道路行政機関における Covid-19 の影響：ウガンダの事例 -41 頁
- ✓ Covid-19 フェーズ1+、公共交通機関を超えた都市モビリティ -44 頁
- ✓ 道路工事：現状の改善しつつ未来を創造する機会 -49 頁
- ✓ Covid-19 のモビリティへの影響及び欧州復興戦略における交通・道路インフラの位置付け -54 頁

3. PIARC テクニカルレポートのご紹介

【レポート名】自動運転車両 - 道路行政と道路管理者の課題と機会

【レポート概要】

米国のSAE（自動車技術会）基準による自動運転レベル3、4、5における車両自動化は、多くの国でまだテスト段階ですが、一般道路でのレベル3におけるテストでは、道路インフラを改良せずとも良好な結果が得られている状況です。



より高いレベルの自動化を実現するには、インフラからのサポートが必要不可欠ですが、自動運転車両は物理的なインフラ構造だけに依存することはできません。車線や標識は日々劣化し、自動運転車両が判別できなくなるタイミングが来ますがこれを予測することは非現実的なためです。そのため、高精細な地図や車両とインフラの接続によるデータ共有などデジタルインフラが必要となります。本レポートでは、このデジタルインフラに関する初期の知見を提供するとともに、車両自動化を成功させるうえで今後生じるであろう11の課題を掲載しています。

あわせて、道路運営者、自動車メーカー（自動車両）、ドライバーの責任のあり方についても言及されていますので、今後の自動運転車両及びそのインフラ構築業務の参考になれば幸いです。

PIARCウェブサイトレポート紹介ページ ⇒



【レポート名】プロジェクトの事前準備

【レポート概要】

一般的なプロジェクトマネジメントでは、事前準備が十分できれば、プロジェクトマネジメントのパフォーマンス（予算や品質）が向上し、より良い結果が得られることはよく知られています。本



レポートでは、所得水準や文化の異なる10カ国にアンケート調査を行い事例を収集、交通プロジェクトを成功させるのに十分な事前準備を実現させるプロセスを分析しています。プロジェクトを実施するにあたり業務の参考になれば幸いです。

PIARCウェブサイトレポート紹介ページ ⇒



4. 第16回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会（カルガリー冬期大会）

カルガリー冬期大会（2022年2月7～11日）の開催が迫ってきました。現在、参加登録の受付中です。

大会にあわせて実施された技術論文募集では、日本から31編の論文が提出されました。これらの論文は、大会技術セッションにおいて、口頭発表、ポスター発表されます。国際会議における日本人技術者の活躍を応援いただきたく、奮ってご参加のほどお願いいたします。今後、大会プログラムの詳細情報が公開され次第、道路協会ウェブサイトにてご案内いたします ⇒



【NEWS】PIARC 日本国内委員会ロゴマーク誕生!!

日本道路協会は、1974年にPIARC日本国内委員会としての認定を受けて以降、日本におけるPIARC活動の支援、普及、成果の還元、PIARC会員サポートなど、PIARCの日本支部機能を担っております。この度、PIARC日本国内委員会ロゴマークを作りました。PIARCロゴのコンセプトを基調に、日本らしいカラーとデザインに仕上げました。これからもPIARC日本国内委員会をよろしく願います。



PIARC 活動に関するご意見、ご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局 安藤: ando@road.or.jp
PIARC 本部事務局 武内: jun.takeuchi@piarc.org